

次世代ネットワークの接続料算定等に関する研究会 (第2回) ヒアリング資料

 SoftBank BB

 SoftBank

 SoftBank Telecom

2008年6月23日

 SoftBank

- NTT-NGNとの接続は、他の電気通信事業者の事業展開上不可欠となるはずであり、また利用者利便の確保の観点からも**不可欠**となるはず
- このためにNTT-NGNは**第一種指定電気通信設備**に指定されているのであり、接続事業者が競争的にサービス提供することが可能となるよう**当初から厳格な接続料設定が必要**
- その前提として、接続事業者が自由に事業展開が可能となるよう、可能な限り**細分化されたアンバンドル機能の設定**や公正な接続条件の整備が必要
- そのためには、さらなる機能のアンバンドルの推進、また足回り回線となる光アクセス回線の接続料の低廉化及び**分岐端末回線単位の接続**の実現が必要
- NTT-NGNは基幹的な通信網としての性格を有するため、本来その接続料等の**接続条件が決定されずにサービスが開始されたことが問題**
- 過去の例を見ても「暫定的」になされた決定が適時に見直された例は少なく、**暫定的決定が接続事業者に不利に働くことを危惧**

十分議論した上で、接続料の算定は、
サービス開始以前に完了しているべきであった

しかしながら、すでにサービス開始が強行されており、サービスを停止して議論をするのでなければ下記のようなフェーズ分けも考えられるか？

〔検討フェーズ〕

2009年度

フェーズ1

接続事業者が
サービス提供可能な
接続料を設定

2010年度

フェーズ2

各種データに基づく
適正なコストをベースに
接続料を設定

適正な接続料算定を検討する前に
暫定的な接続料の設定を行うか？

詳細な議論を行うには、現段階では材料(※)が不十分

(※) 例えば、サービス間の共用設備、コストドライバ等

(フェーズ1の主眼)

- 早期に、NTT-NGNの接続メニューを整備
- 接続事業者がNTT-NGNと接続し、サービス提供し得る接続料を設定

接続料の設定方法として・・・

キャリアズレート方式	NTT小売料金をベースとする
ベンチマーク方式	既存の接続料 (PSTN・地域IP網) をベースとする

ベンチマーク方式については、NGNのコスト効率の良さ等を踏まえ、補正することが適当

キャリアズレート方式やベンチマーク方式等による、
暫定的な接続料設定が現実的か？

フェーズ2では詳細データに基づく厳格な接続料設定

費用面

2008年度会計から
NTT-NGNの費用・資産が整理される

需要面

NTT-NGNはサービス立ち上がり期であり、
今後数年にわたり需要の伸びが予測される

将来原価方式での
算定が適当

接続会計をベースにした将来原価方式による
接続料算定が適当

IP網においてもコストドライバの設定は可能

【コスト配賦の基本的考え方】

- 各機能に直課
- 直課不可の場合、適正なコストドライバで配賦

【適正なコストドライバの設定】

- 複数の機能で共用される設備を特定する
- 当該設備の増減設を決定する要因等を基に適正なコストドライバについて十分議論する
 - ※ 当然のことながら、小売料金を上回る接続料が算定されることはありえない

本来あるべきコストドライバについて十分議論することが必要

現時点で、ビル＆キープ方式導入は認められない

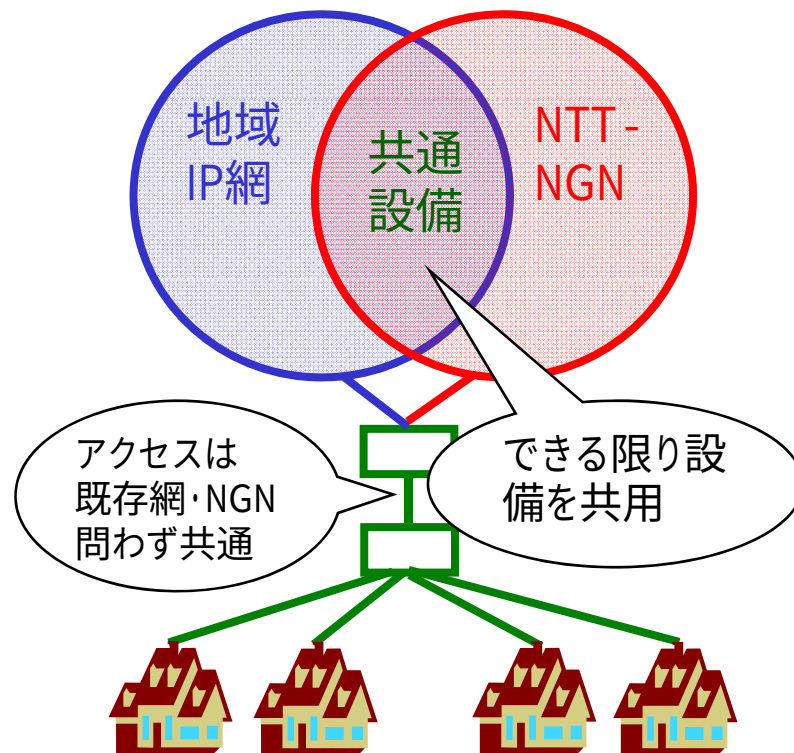
- ビル＆キープ方式は、NTT-NGNのネットワークコストが不透明になるばかりか、接続料の在り方に大きな影響を与えるため問題が大きい
- NTT-NGNは、他の電気通信事業者の事業展開上不可欠なネットワークであり、接続に係る費用の透明性を確保し、当該接続料を適正に設定することが必要
- さらに、既存の電話サービスがある程度存在する限り、既存網における料金体系との整合性を考慮することも必要

ビル＆キープ方式は、オールIP化後の将来的検討項目

- NTT - NGNは、地域IP網の発展形と言われながらも、その構成は以下のとおり

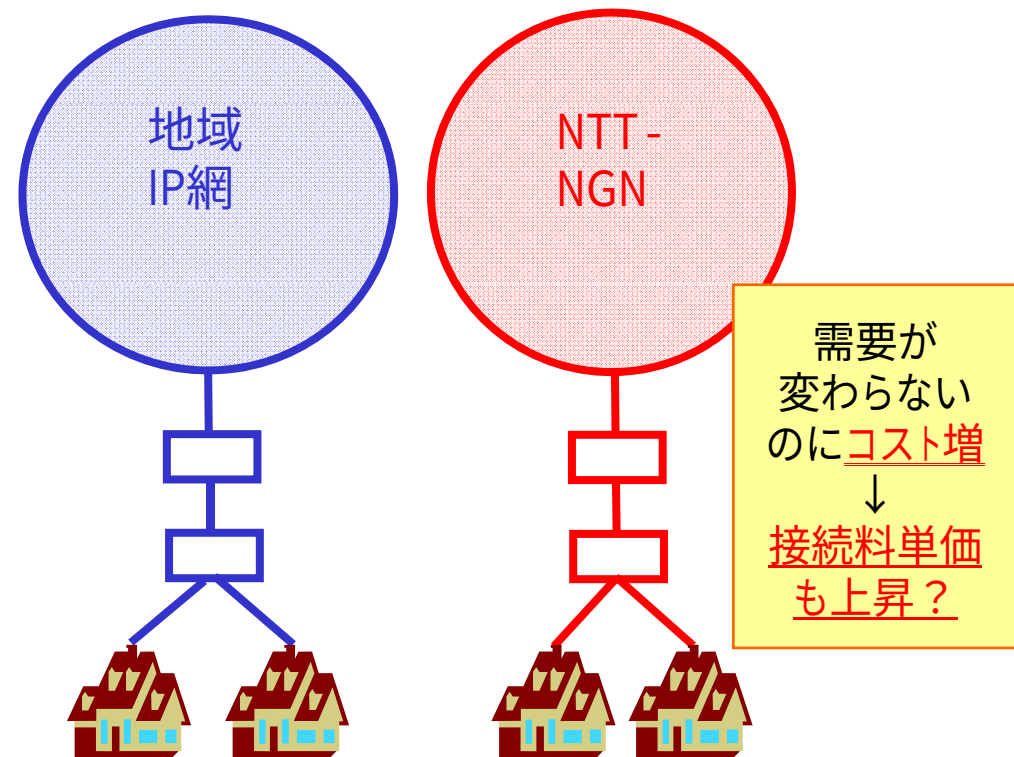
<本来考えられる構成>

将来的に移行を目指すのであれば、
可能な限り、既存の設備を活用すべき



<実際>

地域IP網とNTT-NGNは、アクセスも含めて別構成



地域IP網とNTT-NGNが、合理的・効率的な
ネットワーク構成かという点は疑問が残る

NTT東西のネットワーク構成における非効率性により生じた費用を、接続料で回収することは認められない

- 会計情報を通じて、NTT東西の非効率性有無の検証が可能となるようにすべき

<一例として>

①設備区分費用明細表にて、ネットワーク別に費用を区分

管理部門		地域IP網		NGN	
	中継系交換設備			中継系交換設備	
	⋮			⋮	
	⋮			⋮	
	⋮			⋮	
〇〇費					
〇〇費					
...					

<2007年度接続会計>

管理部門		中継系交換設備	
	⋮		
	⋮		
	⋮		
〇〇費			
〇〇費			
...			

③2007年度の一人あたり費用と比較し、効率性検証

■新たな接続会計における費用

<地域IP網>

中継系交換設備 ÷ 加入者数 = 〇〇円

<NGN>

中継系交換設備 ÷ 加入者数 = 〇〇円

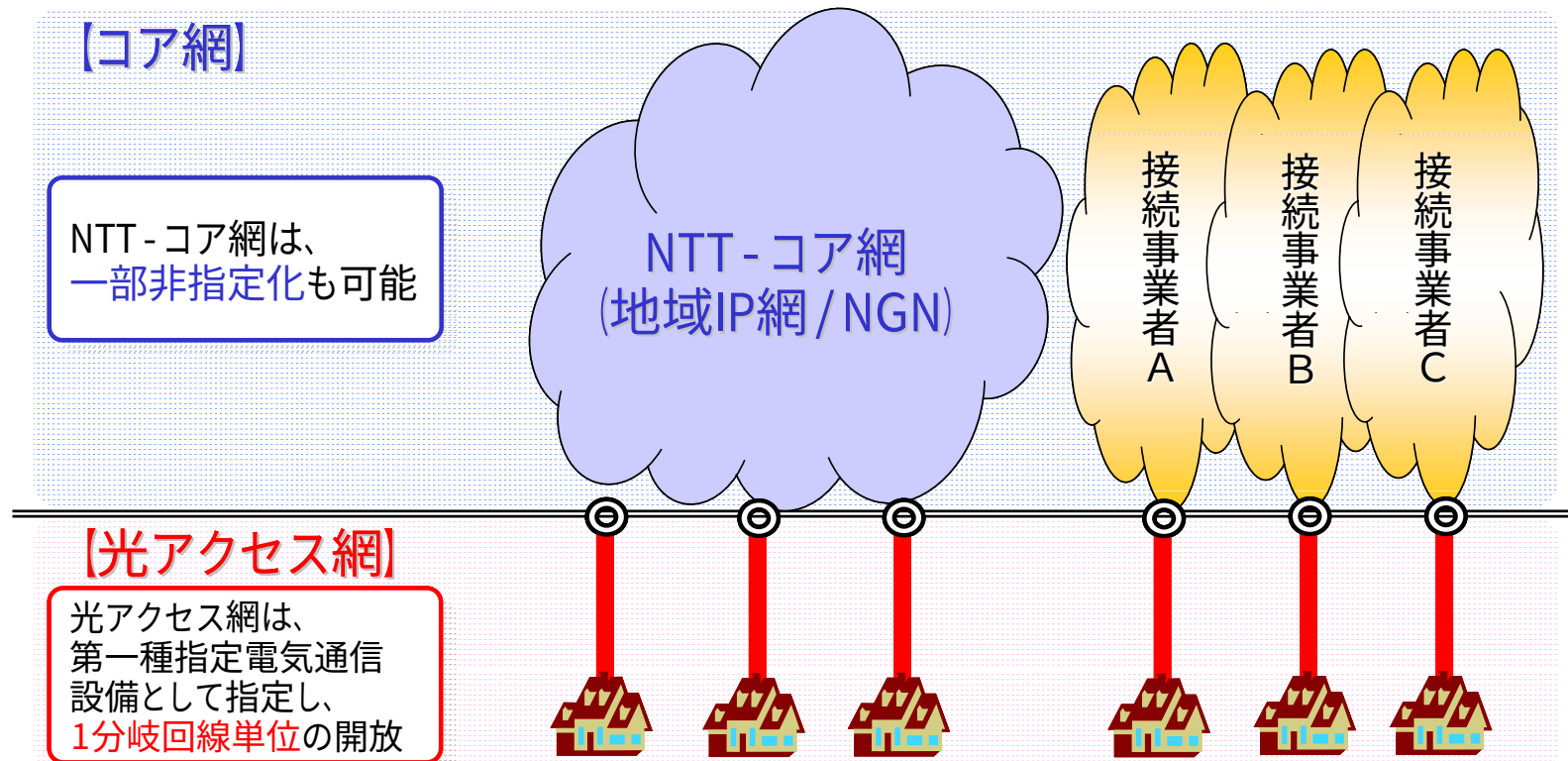
■2007年度接続会計における費用

中継系交換設備 ÷ 加入者数 = 〇〇円

②2007年度の設備区分費用明細表との対応関係を明確化

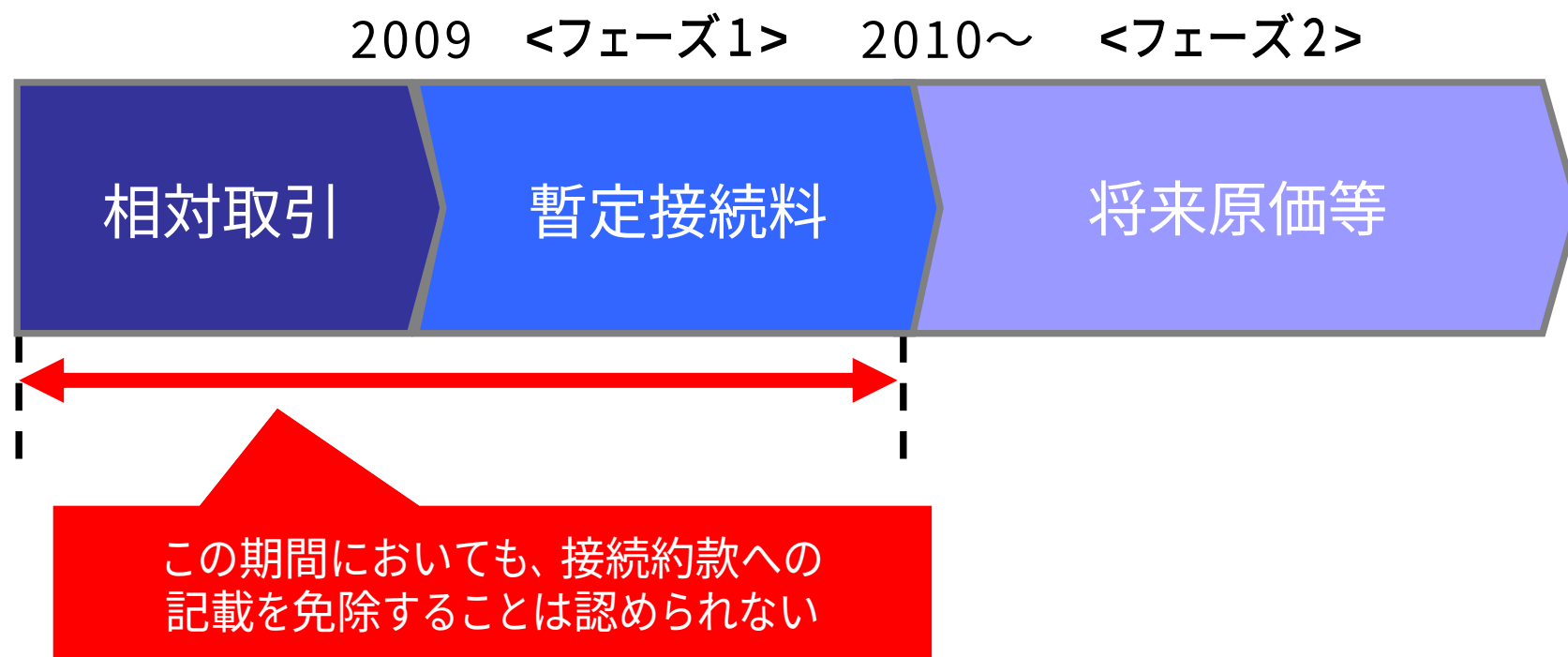
NTT東西における既存網とNTT-NGNの網構成が、効率的なものか否かを検証可能とすることが必要

フェーズ2においては、接続会計をベースにした将来原価方式による接続料算定が望ましいが、「NTTの在り方の見直し」により光アクセス網が明確に分離できれば、コア網に係る接続料議論は不要とする可能性



NTT組織問題の議論と並行した検討が必要

- ・ 第一種指定電気通信設備に係る接続料を、相対取引で設定することは不適切
- ・ 特に、ひかり電話に係る接続料について、第一種指定電気通信設備とされてからも、相対取引が継続されることは問題であり、直ちに接続約款に規定すべき



接続料は、直ちにNTT東西の接続約款に規定し、
透明性及び公平性を確保することが必要

- 接続料設定なしにNTT-NGNのサービスが開始されたことは問題
- 暫定的な接続料設定で現状を追認するのであれば、会計データ等が揃い次第、費用と需要に基づく接続料設定をきちんと行うべき
- NTT-NGNのネットワークコストが不透明になるビル＆キープ方式は不適切
- NGNと地域IP網の重複等、NTTの政策判断やネットワーク構成に起因する非効率性により生じた費用の接続料での回収は認められない
- NTT-NGNの接続料は、接続約款に規定し、公平性・透明性を確保することが必要
- フェーズ2におけるNTT-NGNの接続料の在り方は、NTT組織問題の議論と並行して検討が必要